

北海道開発局事業審議委員会（令和6年度第4回） 審議案件一覧【事後評価】《河川事業》

	事業名	上段：新規採択 下段：今回評価	事業の概要、目的・必要性等	事業期間		総事業費 (億円)	事業の効果の発現状況	費用便益比 B/C ※1	総費用 (億円)	総便益 (億円)	今後の事後評価の必要性 等	備考
				事業化年度	完了年度							
後~2	石狩川直轄河川改修事業 (千歳川遊水地)	新規評価	平成17年4月に石狩川水系千歳川河川整備計画を策定し、戦後最大規模である昭和56年8月上旬の洪水を安全に流すことを目標に、千歳川遊水地群の整備を進め、令和元年度に完成し、翌年度から供用を開始した。	H20	R1	1,150	千歳川遊水地群をはじめとする千歳川の整備や、石狩川の整備計画の実施により戦後最大規模の洪水を安全に流すことができる。 千歳川遊水地は平成30年7月出水などにおいて洪水を貯留し、一部遊水地の機能を発揮した。	2.1	984	2,042	【今後の事後評価及び改善措置の必要性】 ・石狩川直轄河川改修事業（千歳川遊水地）は、現在推進中の石狩川の河川整備による水位低下、千歳川の堤防整備と相まって戦後最大の昭和56年8月上旬洪水に対して、流域の外水氾濫を防止するものである。令和2年度供用開始以降、遊水地に外水流入する洪水は発生していないところであるが、事業期間中に先行して完成していた舞鶴遊水地において、平成30年7月出水で外水流入を確認している。氾濫計算でも事業効果が確認されており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えます。	
								-				
								-				
		事後評価			R1	1,147		2.9	1,967	5,642	【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】 ・綿密な地域調整、事業工程管理に努めるとともに、有識者で構成する事業監理委員会のご指摘も踏まえ、コスト縮減に取り組みながら事業を推進したことで、当初の事業計画に沿った費用、工期で事業を完了することができました。本事業評価を踏まえ同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はないものと考えます。	
		(3.9)										
		[4.7]										

※1 1段目 社会的割引率を4%に設定して算定したB/C
 (2段目) " を2%に設定して算定したB/Cの参考値
 [3段目] " を1%に設定して算定したB/Cの参考値